



子どもたちの頑張る気持ちは伝わっています！

始業式、入学式から1週間が経ちました。新しい学年、学級に慣れてき始めている頃ではないかと思えます。

1年生は、通学班に加わって集団登校を始めました。通学班長や副班長が1年生のことを考えながら登校する様子が見られました。高学年の子どもたちが、「ここは危ないよ」、「挨拶するんよ」というような言葉を掛けて集団登校する様子を、大変ほほえましく見えています。下校についても、各コースのグループで帰っていますが、無事に家までたどり着いていますので安心しています。1年生の保護者の皆様には、登下校の見守りにご協力いただき、ありがとうございます。



2年生以上の子どもたちは、本格的に授業が始まり、新しい教科書を開いて学習に取り組んでいます。進級したことで学習内容が新しくなっていますので、難しさを感じている子がいるかもしれません。教員は、子どもたちの様子確かめながら個別の対応に努めます。子どもたちには分からないことをそのままにせず、授業を担当している教員に尋ねながら学習に取り組んでほしいと思えます。



年度当初に集会をしている学年もありました。学級担任や専科が自己紹介をしたり、この1年間で取り組みたいことを子どもたちに伝えたりしました。教師が自身の思いを直接語ることは大事なことです。その学年に関わる教員みんなで子どもたちを支えていく、できることをしていく、ということが、子どもたちに伝わったと思えます。また、レクリエーションをしながら、学級を越えて親睦を深めることもしました。学年全体盛り上がるという楽しい経験を味わうことができるのも、学校のよいところです。このような学年集会を経て、5月の運動会に向けて頑張ることを期待しています。

令和7年度のスタートは、概ね順調です。今後も、子どもたちの成長のために充実した教育活動に取り組んでいきますので、ご協力をお願いいたします。4月19日(土)の参観授業、学級懇談会、PTA総会、引渡し訓練もよろしくお願いいたします。

単元ごとのテストを変えました

これまで、一単元が終わった後に白い紙のテストを実施してきましたが、今年度は、カラー刷りで、比較的取り組みやすいテストにしました。理由は、今年度は学力向上に取り組んで参りますので、評価手段の一つであるテストを変えることで授業の改善を図ることができるのではないかと考えたからです。テストそのものに対する抵抗感も軽減されるのではないかと考えています。一方で、やや難易度の高い問題に対応することができるのか、という課題もあります。この辺りは、授業や家庭学習で補っていきたいと考えています。

まずは、基礎・基本の定着を図ることが大事だと考えています。テストの形を変えただけで劇的に成果が出るわけではありません。テストの結果を丁寧に分析しながら、個別の対応や授業の改善に生かしていきたいと思えます。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

